



# ティーンズの本棚

今月のテーマ  
「多文化」



## この空のずっとずっと向こう

なるみふう／作 おとないちあき／絵 ポプラ社 (J913/+)

江戸時代。町医者の娘そらは、道で一人の少年が複数の少年にいじめられているところを通りかかり、いじめっこたちを追い払ってやりました。少年がいじめられていた理由は、「英語を話すから」。大六というその少年は、外国のことを研究している学者の子どもです。しかし、そのころ日本では、外国人と外国嫌いの日本人の間で、たびたび事件が起きていました。

## 新しく入った本



## フェンシング部の王子さま The Prince of the Fencing Club

いしかわひろぢか／作 さ・え・ら書房 (T913/1)

小学生の時はゲームばかりしていて、友達がいなかった小野寺歩羅。たまたまテレビで見かけたフェンシングの試合をきっかけに、中学ではフェンシング部に入ろうと決意します。しかし、仮入部したものの先輩たちのノリについていけず、初めて仲良くなったクラスメイトは剣道部への入部を決めていて…。

部活選びと友達づくりに悩む新入生の物語です。



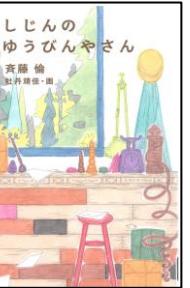
## みんなでつくる「読書バリアフリー」

だれもが読める本のかたち なりまついちろう／著 河出書房新社 (T369/+)

外国にルーツがある人、車いすユーザーの人、見えにくい人、読み書きが苦手な人、聞こえにくい人。さまざまな人が抱える「バリア」について、読書という視点から考えていきます。また、読書の役に立つスマートールや、読みやすさを考えて作られた本も紹介されています。

2026年 2月 第191号  
(月1回発行)  
半田市立図書館  
tel 0569-23-7171  
亀崎図書館  
tel 0569-29-5060

「本の森(YA図書を読む会)  
のオススメ本



しじんのゆうびんやさん  
さいとうりん／作 牡丹靖佳／画 偕成社 (J913/+)

ちいさな街の郵便局員のガイトーは、同僚のトリノスから頼まれて、一度も手紙をもらったことがない灯台守のじいさんに、詩のような手紙を書きました。それが評判となり、ガイトーのところに手紙の依頼がくるようになりました。

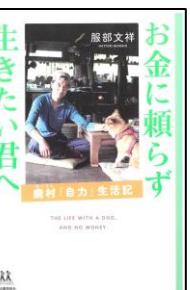
人々の心に残るすてきな手紙(詩)を届けるお話です。

YA=Young Adultの略。10代の若い人をさす言葉です。「本の森(YA図書を読む会)」では、半田市立図書館で2か月に1回、読書会を行っています。

## 6類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。6類には、農業、水産業、商業、交通や通信などに関する本があります。



## お金に頼らず生きたい君へ 廃村「自力」生活記

はっとりぶんしょう 服部文祥／著 河出書房新社 (T611/+)

街でサラリーマンをしながら、山中の廃村で古民家を手に入れて自然の中で暮らす服部さん。利便性や物質的な豊かなを求めてお金を稼ぐほかに、生きるための雑事をすべて自分で行い、自給自足の生活もしています。沢から水を引き、鹿を狩ったり農作業などもこなして、薪で調理します。地球環境を壊さずに「自力」で生き続けるためのヒントが紹介されています。



## 食べものが足りない! 食料危機問題がわかる本

いでるみ てづかまさえ 井出留美／著 手塚雅恵／絵 旬報社 (611/+)

美味しい料理や珍しい食材を、テレビやインターネットなどで目にしたり、町のあちこちで料理屋が店を構える日本では食糧危機はあまり現実味がないことに思えます。

この本では、世界各地で農作物の収穫量が減少している理由と、それが私たちの生活にどのような影響を与えていているのかを、事例をあげながらわかりやすく説明しています。



半田市立図書館キャラクター  
ブッくんとしおりちゃん

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。(インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。 →

